令和7年3月3日

名張市立桔梗が丘東小学校
学校長 松田 和隆 様

名張市立桔梗が丘東小学校 学校運営協議会
会長 福森 讓

令和6年度 学校運営協議会評価書

1. 自己評価書全般について

(1) お互いに認め合える学級集団づくり・なかまづくり

「学びの基盤として協調的・親和的な雰囲気のある学級集団をめざす。」と自己評価されている。まさに、今後もそのように進めていただきたい。

(2) 子どもたちが主体的に学べる授業づくり

「子どもたちが自ら課題を見出し主体的に学んでいこうとする力の育成をめざす。」と自己評価されている。今後もそのように進めていただきたい。

(3) 信頼される安全で安心な学校づくり

児童が「行きたい」「学びたい」保護者や地域が「行かせたい」「学ばせたい」今より一層そう思える学校づくりに努力をお願いしたい。

(4) 小中一貫教育について

桔梗が丘地域は、桔梗が丘中学校区として桔梗が丘小学校・桔梗が丘南小学校・桔梗が丘東小学校・蔵持小学校と1中学校に4小学校で小中一貫教育の推進を図っている。しかし、1中学校と4小学校が継続的な連携をもって一貫教育を進めることは大変困難である。そのなかでも、Tea Timeといわれる中学校の英語教員が中学入学後の英語学習の課題を見据えて各小学校を訪れ高学年に指導している取り組みは、一貫した英語教育として高く評価できるものとする。

(5) コミュニティースクールの推進充実について

あそびつくす in 東小の活動をはじめとして、登下校の安全・校内の環境整備・ゲストティーチャーなど桔梗が丘東小学校の学校ボランティア活動については、地域のボランティアと学校の連携が良くとれており、子どもたちにも有意義な学習機会となっている。

(6) 活力ある学校づくり

(ア) 教職員が働きやすい環境づくり

働き方改革として、教職員の残業時間の軽減や休日勤務縮小など管理職を中心とした努力によって、働きやすい職場環境が保たれつつあるものとする。

(イ) 学校の組織力の向上

上記の働きやすい環境づくりから、管理職と教職員の連携が保たれ学校組織として組織力が向上している。

2. 学校から提示された「課題」や来年度の方角性について

児童へのアンケートの中で「授業の内容がわかる」と答えた児童の割合が目標値を上回り 96.5%と高い数値となっている。一方「安心して自分の意見が言える」と答えた児童の割合は 79.3%と目標値を下回った。これは、能力は高いのに自分に自信がもてていないのではないかと思う。失敗をおそれず自分を主張できる“勇気”をもてるよう教師も児童も意識することが大切か考える。

3. その他

保護者が学校に信頼を置いていることは、そばからもうかがい知れる。このことは、とても大切なことである。今後も保護者からの相談等に、より一層丁寧な対応をお願いしたい。